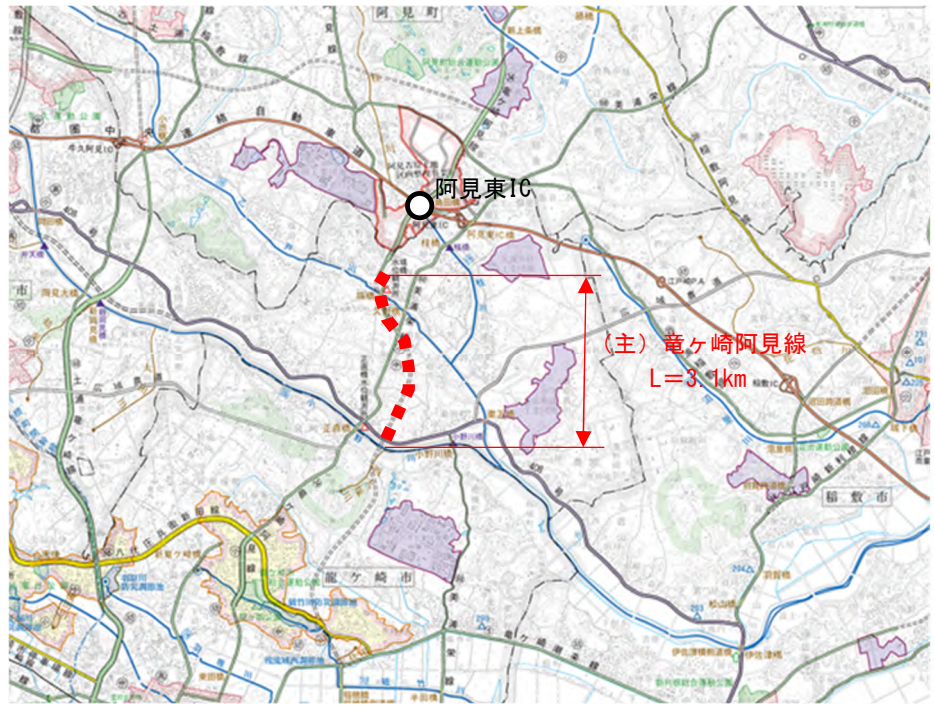


再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：伊藤 高

事業名：高規格ICアクセス 主要地方道 竜ヶ崎阿見線 阿見東 ICアクセス	事業 区分	地方道	事業 主体	茨城県			
起終点：自：茨城県牛久市正直町 至：茨城県牛久市久野町			延長	3.1km			
事業概要 主要地方道竜ヶ崎阿見線は、龍ヶ崎市と阿見町を結ぶ主要な幹線道路であるとともに、圏央道阿見東インターチェンジのアクセス道路としても重要な路線である。 本事業は交通渋滞の緩和及び圏央道阿見東インターチェンジへのアクセス向上による地域の活性化を目的とし、延長約3.1kmを整備するものである。							
H31年度事業化		-	R2年度用地着手		R3年度工事着手		
全体事業費	約83億円		事業進捗率	約19%	供用済延長	-	km
計画交通量	17,800～18,900台/日						
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)	基準年	
	(事業全体) 3.0 (残事業) 4.1	53/72億円 事業費：51/69億円 維持管理費：2.1/2.1億円		217/217億円 走行時間短縮便益：209/209億円 走行経費減少便益：5.4/5.4億円 交通事故減少便益：2.0/2.0億円		令和5年	
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=2.6～3.4 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=3.6～4.7 (交通量±10%) 事業費：B/C=2.8～3.3 (事業費±10%) 事業費：B/C=3.7～4.5 (事業費±10%) 事業期間：B/C=2.9～3.1 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=3.9～4.2 (事業期間±20%)							
事業の効果等 ・圏央道や近隣の工業団地へのアクセス向上により、競争力強化や産業振興が図られる。 ・圏央道阿見東インターチェンジへのアクセス向上による周辺道路の渋滞緩和が図られる。 ・緊急輸送道路として、災害時における広域的な道路ネットワークとの連携が強化され、防災拠点間のアクセス性が向上し、地域の防災力が強化される。							
関係する地方公共団体等の意見 ・地元市町村の牛久市等から本事業の早期完成の要望活動が行われている。							
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。							
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 周辺環境等に特に変化はない。							
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率約48%、事業進捗率約19%							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、工事を推進していく。							
施設の構造や工法の変更等 建設発生土の有効活用の検討を進め、コスト縮減に努める。							
対応方針		事業継続					
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。							

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。